



慶應義塾大学ビジネス・スクール

アップルとスティーブ・ジョブズ（Ⅱ）

5

—「テクノロジー×リベラルアーツ」が生む感動イノベーション—

Vision Pro 発売とアップルカー開発中止

10

2024 年 2 月、アップルはゴーグル型の新端末「Vision Pro」を発売した。従来のヘッドマウント・ディスプレイ（HMD）にはない高い表示性能と、コントローラーのない視線と指を使った新しい操作性が特徴である。



15

（左）Vision Pro。（右）2023 年 6 月、クック CEO はジョブズの決めセリフ「One More Thing!」を使い発表した。（アップル HP より）

従来のゲームやメタバースといった用途を超える「空間コンピュータ」

と名付け、VR（仮想現実）を超えた MR（複合現実）に活路を見出そうとしている。Pro と銘打ったのは、顧客サービスや従業員支援など、業務用途を視野に入れていると見られている。

20

しかし価格は 3,499 ドルからと高価格で、かつ重さが外付けバッテリー約 350g を除いて 600g 超と重く、さらにサード・パーティーのアプリも未開発なため、普及は未知数と受け止められている。

また同じ月に、アップルはアップルカー（EV）開発の「プロジェクト・タイタン」中止を社内向けに発表したと報じられた。

25

2017 年にテスラの技術担当副社長を始め多数の技術者を引き抜いて進めてきたが、自動運転ソフト開発に遅れるうちに、充電インフラはじめ業界標準が固まりつつある。さらに製造委託先も確保できず、

^[1] 以上の新動向は、日経ビジネス 2024.2.19 および同 3.18、日本経済新聞 2024.2.4 などより。

このケースは山根節（慶應義塾大学名誉教授／ビジネス・ブレイクスルー大学院教授）と牟田陽子（早稲田大学ビジネススクール MBA）が、慶應義塾大学小林喜一郎名誉教授の協力を得て、クラス討議の資料として作成した。

30

本ケースは慶應義塾大学ビジネススクール（KBS）が出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は KBS（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp> へ。KBS の許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法による伝送もこれを禁ずる。

Copyright © 山根 節、牟田陽子（2024 年 5 月作成）